

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	自治会加入促進事業『大野中！地域力パワーUP事業』 [ 1 ]
申請団体	大野中地区自治会連合会
事業目的等	多くの区民に自治会活動の理解と未加入者の加入促進を図る。 地域リーダーである自治会長が課題や問題点を共有し、解決策を見出し取り組むことにより地域の活性化を図る。
交付決定日	平成24年 7月24日
交付決定金額	856,000 円 (全体事業費 856,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>スタッフジャンパー、のぼり旗を活用し、自治会加入促進ブースで自治会クイズ、自治会PR、自治会加入促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会加入促進イベント(ブース設定)によるPR(ふるさとまつり 10/21、各公民館まつり(大沼 11/10・11、大野中 3/2・3、大野台 3/10))</li> <li>大型商業施設(イトーヨーカドーサンデッキ)にて、自治会加入促進ブースを設置し、アンケートや加入促進PRを実施。(2/2)</li> <li>単位自治会から選出した人たちで、プロジェクトチームを編成し、一年間の活動計画を協議した。(8/23、9/14、10/11、11/26、12/20、1/9、1/29)</li> </ul> <p>自己評価</p> <p>公民館ではできなかった未加入者への相談コーナーを積極的に取り組むことができた。イトーヨーカドーでの参加協力員は、なぜ未加入なのかを一番知りたく、上手に聞き出していた。その先の自治会加入に至るまでには相手方の理解が求められるが、今後も続けていく必要はある。未加入者の中でも、引越してきて分らないなど知らない状況も多々あるため、少しでも加入につながるような自治会PRを続けていきたいと思っています。</p>
市評価	自治会加入促進のためのプロジェクトチームを結成してより効果のある事業内容が検討された。特に大型店街頭での加入促進イベントでは、新たに大型パネルや横断幕を作成してPRを行い、また歌や踊りのイベントを開催して、大勢の未加入者に働きかけ加入につなげていた。自治会パネルクイズや相談コーナーは加入につなげる効果的な手法と思われる。今後は、開催する加入イベントの精査を行って、更に自治会加入の充実を図られたい。
備考	

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	町火消『大野台消防団づくり』事業	[ 2 ]
申請団体	大野台地区消防団設立委員会	
事業目的等	大野台地区の地域消防力・防災力の整備と強化を図る。	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	150,000 円	(全体事業費 150,020 円)
団体実績報告	<p>事業実績            設立委員会役員会開催(7/26、9/24)、消防団設立委員会開催(8/8、10/16)、大野台公民館運営協議会で消防団・部新設の説明・了承(9/13)、住民説明会の開催(11/8)、設立委員会・団員候補者等で消防博物館、本所防災館を視察研修(2/26)</p> <p>自己評価            平成21年からあしかけ4年にわたった地元の要望が成就することとなり、地域の安全・安心が図られるとの期待を寄せている。</p> <p>なお、団員候補者で辞退された方の補充については、今後、積極的に働きかけなければならない。</p>	
市 評 価	<p>消防団・部の設立に向け、市と協力・連携され、来年度設置の目途ができた。今後は、団員候補への再度の意向確認を行い、辞退による補充や活動実施に向け団員研修を進められたい。</p>	
備 考		

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	地域をまきこむ子育て事業	[ 3 ]
申請団体	なかまみーず	
事業目的等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大野中地域で子育てしている母親同士の繋がりをつくり、子育ての支援拠点とする。</li> <li>・ 子育ての現状について学びあい、地域で子育てをする意識を高める。</li> <li>・ 地域をまきこみながら子育てを応援する人材を育てる。</li> </ul>	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	375,000 円	(全体事業費 385,797 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て中の親に子育てに役立つ情報を盛り込んだ「なかまっぴ ちびっこママの公園マップ」を作成した。25年度配布予定。</li> <li>・ 親を対象に「命について考える事業」講座の実施(11/18, 11/18)。</li> <li>・ 「みんなでつくろうエコナブキン」講座(6/23, 6/30)。</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マップ発行のために、スタッフ自身が住む地域に対して愛着を持った。</li> <li>・ エコナブキンを作ることで環境の保護を考えることができた。</li> <li>・ 大人と子どもが、命の大切さについて一緒に考え合う機会がもてた。</li> <li>・ 継続して行ってきた実績(まとめ誌)などを近隣小学校へ持って行って話げできた。結果、学校でも予算をとって命について考える授業を行うことになった。</li> </ul>	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て中の母親を応援する視点で、子どもが育ちやすい環境を地域の住民とともに作り合える事業として展開できている。</li> <li>・ 関係者の協力を得て、念願の「子育てマップ」が完成した。今後、このマップをフルに活用し、新たな担い手や、子育てに困っている人々に働きかけを期待する。今後の活動に当たっては、保育が課題となっており、ボランティアなどの人材を整え対応する必要がある。</li> </ul>	
備考		

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	「木もれびの森」もーっと知っとこ！事業 [ 4 ]
申請団体	「木もれびの森」もーっと知っとこ！プロジェクトチーム
事業目的等	近隣小学校との連携により「木もれびの森」を環境や自然教育の場として活用し、自然観察や体験学習を通して、自然に触れ、森への関心を高め、身近な緑を大切にする心を育むとともに、次世代を担う人材を育成する。
交付決定日	平成24年 7月24日
交付決定金額	300,000 円 (全体事業費 398,714 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣の小学校での写真展開催(大野小、若松小、鹿島台小、共和小)</li> <li>・ 近隣公民館での写真展開催(大野中、大野台、大沼)</li> <li>・ 木もれびの森観察記録発行</li> <li>・ 近隣小学校の郊外活動、親子交流会、子供会主催のこどもまつりサポート</li> <li>・ 大野小学校で、ゲストティーチャーとして地域活性化事業である当事業を講義</li> <li>・ 植物の掲示板設置(キンラン、ギンラン、サイハイラン他)、若松1丁目から2丁目地区等の樹林整備(下草刈り、散策路整備、倒木を利用したベンチ作成)</li> <li>・ 卓上式カレンダー作成配布(60個)</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣小学校で開催している写真展は、昨年度より2校増加、他に鶴野森中、大野南中と開催交渉中で、更に大野台中央小、由野台中等とも開催を調整中で、計画したペース以上に実施範囲を拡大できている。</li> <li>・ 観察記録も2回/月程度発行しており、こちらも計画以上のペースで発行、木もれびの森への関心の高い層の好奇心を満たすことができた。</li> <li>・ 小学校の授業で地域活性化事業や当プロジェクトチームの目的について、プレゼンテーションを実施、地域の事をもっと知ろうと言う心を醸成できた。</li> </ul>
市評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館まつりを通してより多くの地域住民に「自然観察や体験学習、写真展などを通じ、自然への関心と身近な緑や生き物を大切にする心を育む」事業を展開されている。</li> <li>・ また、目的である「近隣小学校との連携による木もれびの森の環境や自然を学ぶ教育の場として活用すること」の実践が学校数を増やすことなどにより更に推進している。今後、大野中地区管内の全学校に実践活動が広まることを期待する。</li> </ul>
備考	

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	西一パワーUP!事業	[ 5]
申請団体	自治会法人西一自治会	
事業目的等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住んで良かった西一、住みたい西一、心に残るふるさと西一、そして“安全・安心のまちづくり”を目指し、このことを支える地域力の醸成と地域コミュニティの形成を目的とする。</li> <li>・ また上記事業を通して高齢者世帯の孤立防止への目配りが出来る環境づくりを目指す。</li> </ul>	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	243,000 円	(全体事業費 422,720 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域内の防犯パトロール((青パト)振り込め詐欺防止を重点的にパトロール)を週2～3回実施。今年度巡回エリアを拡大</li> <li>・ 資源回収を毎月1回実施。</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業も3年を経過し地域防犯パトロール(青パト)も定着し、確実に協力者が多くなってきている。その現われとして、今年度大野中地区防犯協会の活動として、青パトによるパトロールを開始したところ、西一自治会での経験を生かし当自治会から多くの会員が協力してくれた。</li> <li>・ 資源回収も確実に回収量が多くなってきており、4年目以降については、自治会より若干の予算を付けていただくこととなりますが、行政よりの助成をいただかなくとも自立できるところまで来たと思っております。</li> </ul>	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的である「住んで良かった、住みたい、心に残るふるさと西一」と「安全・安心のまちづくり」それを支える地域力の醸成と地域コミュニティの形成がしっかりできている。また、「若手の担い手」がグループから育ち始めており、着実に事業が推進されている。</li> <li>・ 資源回収による自主財源を確保しており、団体の自立する姿が伺われ、4年目以降も継続した活動が推進されることを期待する。</li> </ul>	
備考		

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	交通安全マナーアップ事業	[ 6]
申請団体	大野中地区交通安全母の会	
事業目的等	<p>独自のスタッフジャンパーを着用し、色々な場所で交通安全PR活動を実施することにより、区民の交通安全意識を高める。また、母の会の担い手育成へのきっかけづくりとする。更に、幼児などへの紙芝居などの読み聞かせを公民館まつり等で行うことにより、親子への交通安全意識を高める。</p> <p>また、幼児だけでなくお年寄りの集まりにも訪問し、交通安全について訴える。</p>	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	250,000 円	(全体事業費 250,000 円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b></p> <p>紙芝居を大型版にすることで、より見やすく理解しやすいものとした。昨年に引き続き紙芝居の読み聞かせで交通事故減少を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年11月25日(日)大野台公民館こどもまつりに参加 午後1時から 約20分 紙芝居「雨の日のおまじない」、「うっかりうさぎさんとたしかめカメさん」</li> <li>平成25年3月3日(日)大野中公民館まつりに参加 午前11時40分から 約20分 紙芝居「雨の日のおまじない」、「うっかりうさぎさんとたしかめカメさん」</li> </ul> <p>大型紙芝居を作成し、読み聞かせを行った。</p> <p><b>自己評価</b></p> <p>子どもたちの輝いている目を見ると続けていきたいという気持ちが強く、今後の活動の柱としていきたいと考えている。紙芝居を通して、母の会の幹事の方同士の関わりが増え、今後の事業に役立っているように感じる。それと、子どもたちの真剣なまなざしに魅了され、今後も続けていく力になっている。今後は、子どもだけでなく、老人会などにも声かけて活動していきたい。</p>	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年、紙芝居を大型化して見やすくし、公民館まつりやこどもまつりでの読み聞かせが、より分かりやすく好評であった。</li> <li>・ アンケート結果からも、参加者から喜ばれており親子へのマナーアップの効果が伺える。</li> <li>・ 今後は、お年寄りに対しても紙芝居等を通して、交通ルールの周知やマナーアップにつなげるとのことで、更なる活動を期待する。</li> </ul>	
備 考		

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	大野中地区青少年活動支援事業	[ 7 ]
申請団体	大野中・大沼合同JLC	
事業目的等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各公民館区の枠を越えた交流活動を行うことにより、連帯意識を高める。</li> <li>・ 各公民館活動や地域の情報を共有し、相互の活動に参加するきっかけをつくる。</li> <li>・ JLCのない大野台地区の組織化に向けた働きかけを行う。</li> </ul>	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	100,000 円	(全体事業費 102,650 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回の研修会(8月・2月)及び準備(5月・12月)を実施。特に、夏休み中の8月25日に合同研修会を大野中公民館で行い、仲良くなるため手段として、みんなでカレー炊飯をしたり、上鶴間高校の岡部校長の講演や上鶴間高校生によるグループディスカッションを行った。</li> <li>・ 大沼公民館、大野中公民館、単位子ども会で行われたスポレクなどの各種イベントに参加した。</li> </ul> <p>自己評価</p> <p>今年度も大野中公民館区と大沼公民館区の中高生及び小学生の交流はできたが、課題の大野台公民館区への呼びかけはできなかつた。声かけをどのように行うか更なる工夫が必要と考える。また、中高生は、学校やクラブ活動などの行事が沢山あり大変に忙しく、学校が異なると益々日程の調整が難しかった。このような活動は、学校との連携も必要ではなからうか。</p>	
市 評 価	<p>「各公民館活動や地域情報の共有と相互の活動参加」は事業を通していろいろ働きかけられ、少しずつ参加者が増え評価できる。「公民館区を越えた交流活動」では、大野中・大沼両公民館区の青少年の交流活動が主で、大野台公民館区との交流はできていない様子である。青少年指導に関わる人材はいるものの他館区との交流に対する理解が得られていないようなので、引き続き必要性の理解を求め交流できるよう期待する。</p>	
備 考		

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	木もれびの森の落ち葉の資源循環プロジェクト事業 [ 8]
申請団体	環境ステップアップの会 & NPO法人相模原こもれび
事業目的等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落ち葉を腐葉土にし、資源として地域内で循環できれば、落ち葉を焼却することなく有効利用できます。</li> <li>・ 腐葉土は畑やベランダ菜園等でも利用でき、生ごみ堆肥を作ることも出来ます。</li> <li>・ 腐葉土の使い方を多くの人に提供することによって、生ごみの焼却が減り、ごみの排出削減も図れます。</li> <li>・ 環境の保護・保全に関心を持つ人が増えることによって、木もれびの森の保全活動にも寄与します。</li> </ul>
交付決定日	平成24年 7月24日
交付決定金額	241,000 円 (全体事業費 241,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習会開催「放射線量測定から分かること」(4/21)</li> <li>・ 放射線量測定6回(4/9,5/28, 7/9, 9/24, 11/19, 2/25)</li> <li>・ 「木もれびの森であそぼうよ」で放射線量測定結果と活動パネル展示(10月)</li> <li>・ 学習会開催「移動する放射性物質 その影響の今とこれからは？」(1/13)</li> <li>・ 木もれびの森にて落ち葉収集、集積 12月、1月</li> <li>・ 大野中公民館まつりで会の活動発表</li> <li>・ まとめ誌発行</li> </ul> <p>自己評価</p> <p>福島第一原発事故で懸念されていた木もれびの森の落ち葉を腐葉土にし、腐葉土ガンマー線測定を東京大学アイソトープに依頼、小豆川先生に解説を願った。安全性が確認され、今後、腐葉土資源として地域内で循環ができることは確信。今年度は、安全性の確認に重点を置き、講座を2回実施、参加者多数で関心の高さを実感。地域で必要とされている情報源となったと評価している。</p>
市 評 価	<p>落ち葉を腐葉土にし、資源として地域内で資源循環をする目的は、初年度の東日本大震災の影響により、放射線量の安全面が憂慮されたが、測定結果から安全であることが確認できた。昨年秋から積極的に堆肥作りに取り組み、約20kgの網袋10袋の腐葉土ができた。今後は、腐葉土の使い方をより多くの人に提供できるよう努められたい。</p>
備 考	



## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	高齢者家庭支援事業	[ 9 ]
申請団体	ライフサポート“ありがとうの会”	
事業目的等	当グリーンハイツ団地は、今後一段と高齢化が進むことが確実で支援を要する家庭が増加することから、当会では、介護保険等行政の支援が及ぶ前の段階や行政の支援が必要な場合に、それを補完する形で高齢者への支援や見守りを行う。	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	120,000 円	(全体事業費 480,878 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>高齢者家庭等への</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災報知機の取付。ワイヤレスチャイムの取付。</li> <li>・ 家具転倒防止工事等。</li> <li>・ 一般ごみ・粗大ごみの処理。</li> <li>・ 専用庭の手入れ。</li> <li>・ 電球の交換 ほか。</li> <li>・ 日常生活の手助け作業の実施。</li> </ul> <p>支援活動を通して自治会への参加の必要性をPRし、加入促進お声かけを行った。</p> <p>自己評価</p> <p>支援事業も順調に軌道にのりつつあり、会員皆様には喜んでいただき、先ずは成功かと思っております。また、会員・協力員ほかの意見を汲み取り、更に充実した内容となるように努力してまいりたい。今後は、更に高齢化が進むなか自治会協賛活動等で、賛同会員・協力者を募り、支援活動の円滑な運営に供したい。</p>	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的である高齢者等への支援や見守り活動の中で、支援内容が充実し、高齢者に喜ばれている様子である。協力員や会員相互の親睦も深められ、安全で安心な生活が一層推進されていると伺える。</li> <li>・ 自治会加入促進の啓発活動も徐々に理解が得られているようで、引き続き自治会と協力体制で、積極的に取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 今後は、支援する側の協力者と会員の充実を図り、団体活動が自立できるよう取り組むことを期待する。</li> </ul>	
備 考		

## 平成24年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	農家とつながる生ごみ堆肥化、資源活用事業	[ 10]
申請団体	ダンボールコンポスト古淵・鶴野森	
事業目的等	<p>生ごみを焼却するのではなく堆肥材として資源化することでごみの減量を図る。                  地域住民と農家との協働で生ごみの地域内循環を広め、畑を畑として残すことで自然環境が保たれ、かつ都市部の住宅に囲まれた畑は防災上必要な場所ともなる。                  また安全で安心な作物がとれ、それを地域で消費する地産地消の取り組みをし資源循環の素晴らしさを伝える。</p>	
交付決定日	平成24年 7月24日	
交付決定金額	185,000 円	(全体事業費 185,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加家庭での生ごみ堆肥化(6月から3月)を行い、堆肥場への混ぜ込み作業を5回実施。</li> <li>ダンボールコンポスト作り講座を実施(10月、2月)農家協力者 1軒</li> </ul> <p>自己評価</p> <p>この事業の目的としている生ごみを焼却せず資源化することができ、ごみの減量が図られ、農家では堆肥として使ってもらい、その堆肥で作ったじゃがいもの収穫体験もでき、地産地消の取り組みの一步ともなり地域内循環の広がりを感じました。</p>	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化への興味は示すものの、できた堆肥を農家へ収めるため、自分で使えないという理由から参加者があまり多くなかったようである。</li> <li>現在の参加者は約20名程度と、本団体の活動内容に留まっているため、更に参加者の増強に努めてほしい。</li> <li>今後、もっと地域へ波及できる工夫を行い、堆肥量を増し、協力農家を増やして事業が更に広がるように努めていただきたい。</li> </ul>	
備 考		